平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　扶桑薬品工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4538　URL　http://www.fuso-pharm.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 戸田　幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長　(氏名) 為房　正信　TEL 06-6969-1131

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	33,692	△7.9	636	△67.1	302	△79.7	207	△81.7
23年3月期第3四半期	36,582	2.2	1,933	372.3	1,494	―	1,136	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　527百万円　(△44.5%)　23年3月期第3四半期　950百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.29	―
23年3月期第3四半期	12.55	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	63,372	26,245	41.4
23年3月期	59,453	26,263	44.2

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　26,245百万円　23年3月期　26,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
24年3月期	―	3.00	―		
24年3月期(予想)				3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,040	△5.1	670	△69.1	300	△81.7	200	△82.5	2.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	94,511,690 株	23年3月期	94,511,690 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	3,963,597 株	23年3月期	3,952,980 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	90,554,316 株	23年3月期3Q	90,579,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当連結会計年度の第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期央の７～９月期のGDP（国内総生産）が一年ぶりのプラス成長へ転じ、東日本大震災で落ち込んだ輸出や個人消費の回復を反映して10～12月期には震災前の水準へ戻す模様ながら、対ドル、対ユーロの歴史的な円高が続く欧州危機の連鎖や、タイ洪水など下振れリスクが強く、経済成長率の鈍化が必至の情勢となっております。これを反映して、年末の株価も日経平均で1982年以来の29年ぶりの安値を記録、安全資産へのリスクオフで円高・株安基調が続く様相となりました。19兆円規模の大震災の復興需要の下支え期待で今春４月以降の景気回復予想もあるものの、欧州危機の長期化、イラン制裁問題の混乱と難題が相次ぎ主要国のリーダー改選の年でもあり、ユーロ発の“世界経済危機Ⅱ”襲来阻止への正念場を迎えている情勢であります。

第３四半期連結累計期間の医薬品業界におきましては、36兆円台へ前年度に比べ3.4％増の過去最高を更新した2009年度実績の国民医療費の膨張ぶりが明らかになり、2012年度の推計では40兆７千億円に達しており、さらに、2025年には52兆円規模になる予測があるなど社会保障制度破綻の一因とも見られて“税との一体改革”論議の狙上に上がってきて政局の焦点の一つとなっております。薬価改定年度の平成24年度も早くも6.0％の薬価引き下げがベースになり、同年度の薬剤費推計８兆４千億円に対して５千億円程度の圧縮となるとみられております。当年度第２四半期決算において、医薬品業界の大手・準大手でも東日本大震災のマイナス影響に加えて、海外市場での特許切れと円高が響いて減収・減益を余儀なくされており、通期さらには次期以降の業績環境は一段と厳しいものと予想されるところであります。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、東日本大震災直後の緊急対策を終えて、主力、準主力製品市場復旧への再構築に全力投球で主柱の医薬品事業の建て直しを図っておりますが、大震災で新製品拡販政策の出足が遅れていた主力の人工腎臓用透析剤のキンダリー４号シリーズの営業活動の本格化で、患者と医療機関のニーズに即応した新製品の特長認識から需要が伸び始め、市場の切り替え採用が進んで、競合他社の新製品攻勢による長期低迷からの脱出と営業採算の向上に寄与してくる期待が大きくなっております。また、準主力の生理食塩液も大型製品が順調な市場復旧をみせ、大震災影響が大きかった同じく準主力の透析療法のサブラッド血液ろ過用補充液ＢＳＧが第３四半期に至って納入件数、販売額とも伸びが顕著となり、前年度比の減収額を縮小させております。そのほか、透析療法の吸着型血液浄化器リクセルが販促キャンペーン効果で、血液分析器アイ・スタットが新型への買い替え効果で、また、透析用血液凝固阻止剤ヘパリン・シリンジ型新製品の３品目やミニヘパ２品目とも続伸するなどで、医薬品事業の売上高が334億89百万円と前年同四半期と比べ28億92百万円（7.9％）の減少となりました。また、比較的安定しております不動産事業の売上高は２億３百万円と前年同四半期と比べ２百万円（1.1％）の増加となり、当第３四半期連結累計期間の売上高は336億92百万円と前年同四半期と比べ28億90百万円（7.9％）の減少にまで回復でき、通期目標のほぼ75％に届いております。ただ、売上原価率が72.2％へ約1.5ポイントの上昇で、営業利益では６億36百万円と前年同四半期と比べ12億97百万円（67.1％）の減少、経常利益では３億２百万円と前年同四半期と比べ11億91百万円（79.7％）の減少、当四半期純利益は２億７百万円と前年同四半期と比べ９億28百万円（81.7％）の減少ながら通期目標を既にクリアしております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、633億72百万円と前連結会計年度末と比べ39億19百万円（6.6％）の増加、負債は371億27百万円と前連結会計年度末と比べ39億37百万円（11.9％）の増加、純資産は262億45百万円と前連結会計年度末に比べ18百万円（0.1％）の減少となりました。なお、自己資本比率は41.4％と前連結会計年度末に比べ2.8ポイントの減少となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の通期見通しにつきましては、歴史的な対ドル、対ユーロの円高、欧州の金融不安、イラン制裁にからむ中東の緊迫、そして、国内においては消費税にからむ政局不安、医薬品業界においては、薬価改定年度の到来など厳しい市場環境を控えて業績再建の正念場を迎えるところとなっておりますが、第３四半期連結累計期間までの業績推移から推して、ほぼ、目標ペースの業績見通しが予想されております。次年度には新製品の外科用止血材ＴＤＭ－６２１の上市期待もあり、経営の新展開となる予想であります。

※ご参考　平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	45,040	△5.1	670	△69.1	300	△81.7	200	△82.5	2.21

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,833	6,408
受取手形及び売掛金	19,042	19,590
商品及び製品	5,318	6,164
仕掛品	82	130
原材料及び貯蔵品	1,063	1,241
その他	764	683
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	30,103	34,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,780	8,429
土地	11,344	11,344
その他（純額）	3,942	4,006
有形固定資産合計	24,067	23,779
無形固定資産	201	166
投資その他の資産	5,081	5,208
固定資産合計	29,350	29,155
資産合計	59,453	63,372
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,249	11,897
短期借入金	6,168	7,358
未払法人税等	62	81
賞与引当金	805	409
その他の引当金	434	349
その他	4,573	5,694
流動負債合計	23,293	25,790
固定負債		
社債	350	250
長期借入金	5,384	7,113
退職給付引当金	1,016	1,232
その他の引当金	243	239
その他	2,901	2,499
固定負債合計	9,895	11,336
負債合計	33,189	37,127

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	6,372	6,036
自己株式	△1,406	△1,408
株主資本合計	30,734	30,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	23
繰延ヘッジ損益	△54	△39
土地再評価差額金	△4,414	△4,134
その他の包括利益累計額合計	△4,471	△4,151
純資産合計	26,263	26,245
負債純資産合計	59,453	63,372

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	36,582	33,692
売上原価	25,875	24,327
売上総利益	10,706	9,365
返品調整引当金戻入額	10	2
差引売上総利益	10,717	9,368
販売費及び一般管理費	8,784	8,731
営業利益	1,933	636
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	44	48
保険関係収益	11	71
投資有価証券受贈益	45	－
その他	96	56
営業外収益合計	207	181
営業外費用		
支払利息	239	195
生命保険料	91	98
投資事業組合運用損	56	103
その他	258	118
営業外費用合計	646	514
経常利益	1,494	302
特別利益		
前期損益修正益	27	－
その他	4	－
特別利益合計	31	－
特別損失		
たな卸資産廃棄損	332	－
固定資産除却損	36	65
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51	－
その他	0	－
特別損失合計	421	65
税金等調整前四半期純利益	1,104	237
法人税、住民税及び事業税	36	88
法人税等調整額	△69	△58
法人税等合計	△32	29
少数株主損益調整前四半期純利益	1,136	207
四半期純利益	1,136	207

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,136	207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	25
繰延ヘッジ損益	△31	14
土地再評価差額金	―	279
その他の包括利益合計	△186	319
四半期包括利益	950	527
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	950	527
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。